

# 持続可能な社会に向けた活動

|                     |    |
|---------------------|----|
| 環境への取組み .....       | 90 |
| 社会貢献活動 .....        | 92 |
| スポーツ振興への取組み .....   | 94 |
| 損害保険業界としての取組み ..... | 96 |

## 環境への取組み



当社は、グループ共通取組の一環として、環境マネジメントシステムの推進や生物多様性の保全活動、温室効果ガス排出量の削減に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献しています。

### 環境問題への基本姿勢

当社は、環境問題を経営の重要課題として位置付け、地球環境と事業活動との持続可能な関係構築をめざしています。2010年4月からは「MS&ADインシュアランス グループ環境基本方針」のもと、環境保全活動や生物多様性の保全活動等を積極的に推進しています。

#### MS&ADインシュアランス グループ 環境基本方針【要旨】

MS&ADインシュアランス グループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という経営理念（ミッション）に基づき、環境について経営戦略の一環として次の主要課題を定め、行動基準に沿った取組みを推進します。

環境マネジメントシステムによる継続的な改善に努め、環境関連法規制やMS&ADインシュアランス グループが同意する原則・指針等を遵守します。

#### 主要課題

- (1) 気候変動の緩和および気候変動への適応
- (2) 持続可能な資源の利用
- (3) 環境負荷の低減
- (4) 生物多様性の保全

#### 行動基準

- (1) 保険・金融サービス事業を通じた取組み
- (2) 事業プロセスにおける取組み
- (3) 環境啓発および保護活動

2019年3月1日最終改定

### 温室効果ガス排出量削減の取組み

MS&ADインシュアランス グループは「2050年度までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」に向け、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいます。

国内では、自社保有ビルの一部で使用電力を再生可能エネルギーに切り替えるなど、再生可能エネルギーの導入を拡大しています。駿河台ビル、駿河台新館、大阪淀屋橋ビル、玉川研修所などに太陽光パネルを設置し、発電したエネルギーを同ビルで利用しています。また、省エネのため照明のLED化や空調設備更新を進めています。



駿河台新館ビル屋上に設置した太陽光パネル

海外拠点では、2019年より証書購入を通じて、使用する電力に占める再生可能エネルギーの割合を高めています。社有車を順次HV（ハイブリッド自動車）やEV（電気自動車）に入れ替え、ガソリン使用による温室効果ガス排出量削減を進めています。

### MS&ADグリーンアースプロジェクト

2022年度から、自然環境の保全・再生や環境負荷低減、防災減災・地方創生をテーマに、MS&ADグループ一体で取り組む「MS&ADグリーンアースプロジェクト」を推進しています。本取組を通じて、さまざまなステークホルダーと協働し、自然が持つ多面的な機能を活かしたレジリエントでサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

#### 自然環境の保全・再生による防災・減災と地方創生

地域の活動団体と連携し、社員とその家族等のボランティアによる現地での環境保全・再生活動を通じて、自然が有する防災・減災の機能回復や脱炭素、雇用機会の拡大等、社会課題の解決に取り組んでいます。2023年度は熊本県球磨川流域・宮城県南三陸町・千葉県印旛沼流域を活動場所に定め、湿地、里山、藻場などの保全・再生活動に参加しました。自然の恵みを活かし、生物多様性を守りながら、自然災害の被害を和らげ、地域も活性化する好循環を生み出す「グリーンレジリエンス」の実現に向けて継続して取組みを続けていきます。



熊本県球磨川流域（左）と宮城県南三陸町（右）での活動の様子

#### ペーパーレスによる環境負荷低減

eco保険証券、Web約款、スマホ決済の利用等、お客さまにご選択いただいたペーパーレス取組の進捗に応じて、脱炭素化や生物多様性保全を目的とした活動に寄付しています。

#### 電力やガソリン利用の抑制による環境負荷低減

全社員が紙、電力、ガソリンの使用量削減に取り組んでいます。DX推進によるペーパーレス会議やスマートワークの加速、執務室内の節電、上下数階の移動の際の階段利用等、身近な活動を通じて環境負荷低減に取り組むとともに、社員の理解促進につなげています。

### インドネシア熱帯林再生プロジェクト

#### 森林の再生と持続可能な地域社会の形成に向けた取組み

2005年よりインドネシア環境林業省と連携し、ジャワ島ジョグジャカルタ特別州のパリヤン野生動物保護林の修復・再生プロジェクトを19年にわたり継続しています。これまで350haの地域に約40万本の植樹をし、周辺地域住民への植林・育林の技術指導を行う住民協働型植林を展開することで、住民の生計向上や地域経済の活性化にも貢献してきました。



地元小学校の子どもたちによる  
パトロール



住民の社会経済状況調査時の様子  
(ガジャマダ大学 森林学部提供)

2023年は、森林・生態系回復のモニタリング調査をガジャマダ大学に委託し、「植生・鳥類」「昆虫類」「住民の社会経済状況」の3つのテーマについてプロジェクト評価を実施した結果、植林によりパリヤン野生動物保護林は順調に再生・回復していることや、植林した早生樹の出荷により地域住民の生活水準が向上していること等が確認できました。また、当社による環境教育が現地の学習指導要領に導入されるなど地域住民の森林保全に対する意識を高めていることも調査で明らかになりました。

## 駿河台緑地の多面的機能と地域との共生

本店の駿河台ビル(1984年竣工)は、駿河台新館(2012年竣工)と合わせ7,091㎡の緑地を設けています。低層棟の屋上にある庭園は、専用エレベーターを設置し、地域の皆さまへ開放しています。敷地内の植物は、在来種を中心に鳥や蝶が好む樹種を採用し、皇居と上野公園をつなぐエコロジカル・ネットワークの形成と野鳥の生息域拡大に努めています。屋上庭園内の菜園は近隣の方に無料で貸し出し、都会での野菜づくりを楽しんでいただいています。

また、駿河台緑地は自然が持つ多面的な機能として防災・減災にも活かされています。屋上庭園の優れた蓄雨機能は都市型水害の減災効果があるなど、自然の恵みで地域防災への備えを高める「グリーンレジリエンス」の概念に通じる緑地です。



屋上庭園で毎月開催  
パードウォッチング

駿河台緑地は、環境省の「自然共生サイト」に認定されました(2023年10月)。

生物多様性の損失を減らし回復させる行動(ネイチャーポジティブ)に取り組む企業緑地として、30by30<sup>(注)</sup>達成をめざし、自然と共生する世界の実現につなげます。

(注) 2021年G7サミットで合意された、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際目標。

駿河台新館に隣接する「ECOM(エコム)駿河台」は、生きものや環境に関連した企画展示やイベントを開催する地域に開かれた情報の発信拠点です。

2023年度は、地域の小学生を対象にした自然観察プログラムで、葉っぱの図鑑づくりや敷地内の鳥の巣箱観察を行いました。新型コロナウイルス感染症対策で中止していた園芸講座「緑のアトリエ」も再開し、多くの参加がありました。このほかにも、駿河台ビル・駿河台新館は災害時におけるBCP(事業継続計画)の実効性確保のため、高い耐震性と停電・断水等に備える各種設備・システムを有し、周辺住民や帰宅困難者の一時滞在施設として活用できます。



生きものさがし自然塾での巣箱観察



緑のアトリエ 春の寄せ植え

## 【駿河台緑地の主な受賞歴】

|       |                                                                                                                                                 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2001年 | 「平成13年度都市緑化及び都市公園等整備・保全・美化運動における都市緑化功労者国土交通大臣表彰者」(国土交通省)                                                                                        |
| 2004年 | 「第3回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」環境大臣賞(都市緑化機構)                                                                                                             |
| 2016年 | 「第1回ABINC賞」優秀賞(都市SC版)(いきもの共生事業推進協議会(ABINC))<br>「第5回いきものにぎわい企業活動コンテスト」審査委員特別賞(いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会)                                            |
| 2017年 | 「第1回グリーンレジリエンス大賞」優秀賞(一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会)<br>「第5回みどりの社会貢献賞」(都市緑化機構)<br>「江戸のみどり登録緑地」優良緑地登録(第1号)(東京都)<br>「SEGES(注)」緑の殿堂(Green Legacy)認定(都市緑化機構) |
| 2018年 | 「RaCS雨水活用サイト認証」(第1号)エメラルドレベル(雨水まちづくりサポート)                                                                                                       |
| 2022年 | 「令和4年度 温暖化配慮行動計画書制度 表彰事業所」特別賞(千代田区)                                                                                                             |
| 2023年 | 「自然共生サイト」認定(環境省)                                                                                                                                |

(注)「SEGES(社会・環境貢献緑地評価システム)」とは、貢献度の高い優れた緑を評価認定する「緑の認定」制度です。2010年3月に閣議決定された「生物多様性国家戦略2010」の中の「緑の保全・創出・管理」に関わる普及啓発方策の1つとして位置付けられています。



## 社員食堂で「サステナブル・シーフード」の提供

2019年10月より駿河台ビル、2020年8月より千葉ニュータウンセンターの社員食堂において、サステナブル・シーフード<sup>(注)</sup>(持続可能な水産物)を使用したメニューを毎月提供しています。

2024年2月には、MS&ADグリーンアースプロジェクトの活動地の1つである宮城県南三陸町のサステナブル・シーフード食材を用いたメニューを提供し、社員自らが「食する」ことで当社のサステナビリティ取組を実感する機会となりました。日常生活での自らの消費行動を変革することにもつなげ、持続可能な社会の実現にも貢献していきます。

(注) 持続可能な生産(漁獲・養殖)に加え、加工・流通・販売過程における管理やトレーサビリティの確保について認証を取得しているシーフードです。



サステナブル・シーフードデー開催の様子

## 社会貢献活動



当社は、地域社会・国際社会の一員として、保険・金融サービス事業を通じた社会貢献活動に加えて、社員による主体的な環境保全活動や地域社会への貢献活動を通じて、社会の持続的な発展に貢献しています。

### 災害時義援金マッチングギフト制度(2004年～)

社員から寄せられた災害被災者への義援金に対して、MS&ADホールディングスが金額を上乗せして寄付する「災害時義援金マッチングギフト制度」を実施しています。この制度の創設から20年間で、累計8億6,000万円を超える義援金を寄付しました。

(1) 対象災害: 国内…災害救助法が適用され、義援金の募集が行われる災害

海外…一般社団法人 日本経済団体連合会が支援に関する情報提供を行う大規模災害

(2) 拠出金額: 原則、社員からの義援金額と同額

#### 【拠出実績(2023年度)】

| 対象災害          | 災害発生月 | 協力者数    | 社員拠出額       | 合計額<br>(マッチングギフト含む) |
|---------------|-------|---------|-------------|---------------------|
| 令和5年奥能登地震     | 5月    | 2,348名  | 3,054,500円  | 6,109,000円          |
| 令和5年台風2号      | 6月    | 2,063名  | 2,455,500円  | 4,911,000円          |
| 令和5年6・7月大雨    | 6～7月  | 2,493名  | 3,050,000円  | 6,100,000円          |
| ハワイ・マウイ島大規模火災 | 8月    | 2,866名  | 3,610,500円  | 7,221,000円          |
| 令和5年台風13号     | 9月    | 1,830名  | 2,170,500円  | 4,341,000円          |
| 令和6年能登半島地震    | 1月    | 7,406名  | 17,778,000円 | 35,556,000円         |
| 合計            |       | 19,006名 | 32,119,000円 | 64,238,000円         |

制度創設からの合計額

863,221,465円

※上記は、MS&ADインシュアランスグループ全体の拠出金額です。

### グループ社員による社会貢献活動団体

#### MS&ADゆにぞんスマイルクラブの活動



MS&ADインシュアランスグループの社員による社会貢献活動団体として、1993年に発足しました。活動に賛同する社員は毎月の給与から「100円×任意口数」を拠出し、その拠出金は、NPOへの助成活動や部支店による環境保全・社会貢献活動への資金補助、チャリティーイベントの開催費用等に充てられています。

#### チャリティーコンサート・イベントの開催

##### 軽音楽部バレンタイン・チャリティーコンサート(1996年～)

MS&AD軽音楽部によるコンサートを開催し、その収益金を、タイ・ラオス・カンボジアの農村地域に住む子どもたちが中学校へ通う奨学金として、「公益財団法人 民際センター」へ寄付しています。第1回(1996年)から昨年の第28回までの売上金・寄付金により、累計662名(総額2,421万円)に奨学金を贈ることができました。

### 社員・代理店による社会貢献活動

#### 部支店で年に1つは環境・貢献活動

全国の部支店に所属する環境・社会活動サポーターが中心となり、各部支店で「環境」「福祉」「交通安全」「防災減災」「保険救命」「高齢者」「子ども」等をテーマとした環境保全・社会貢献活動に取り組んでいます。新型コロナウイルスが5類感染症に移行してからは集合形式の清掃活動も再開し、2023年度は159部支店が237の活動を行いました。フードバンクへ食料品や日用品を寄贈する活動では、家庭のフードロス解消につながるのと同時に、フードバンクを必要とする方がいらっしゃるという社会課題を、社員が考えるきっかけとなりました。



沖縄支店「子どもの居場所」への寄贈

#### 金融リテラシー講座(損害保険編)

2022年4月の民法改正で成年年齢が18歳に引き下げとなりました。学習指導要領の変更を受け、若年層の金融リテラシー向上のための出張授業を行っています。

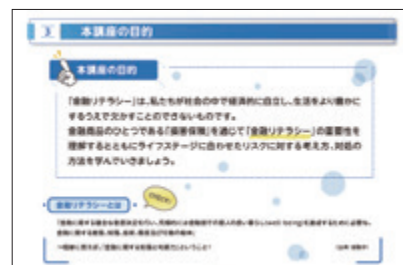
2023年1月から累計916名の学生に、グループワークや社員による講義を通じて、身近なリスクを正しく認識し、リスクに備える方法の1つとして損害保険の仕組みや重要性を伝えています。

2024年3月には、当社パラアスリート社員が視覚特別支援学校で授業を実施し、誰もが取り残されることなく保険等の金融サービスへアクセスできる「金融包摂」に向けた取り組みへと拡大しています。

若年層に、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現するための生活スキルを身に付けてもらう機会として、今後も積極的に取り組んでいきます。



金融リテラシー講座①



金融リテラシー講座②

## 地域各所の清掃活動を実施

各地域のNPO団体、住民とともに、文化財や観光名所のほか、生態系を守るために海岸や河川の清掃活動を行っています。



熊本市白川清掃活動

## TABLE FOR TWOプログラムに参加(2008年～)

社員の健康維持と社会貢献を同時に行うため、「TABLE FOR TWOプログラム」に参加しています。社員が社員食堂で対象の低カロリーメニューを購入すると、1食あたり20円がアフリカ等の発展途上国の学校給食プログラムへ寄付されます。2023年度末累計で12,820,680円(641,034食分)を寄付しました。



## 高齢者の交通事故防止、運転寿命延伸の支援

### グッドドライバー・レッスンへの支援

NPO法人グッドドライバー・レッスン社が主催する、高齢者向け体験型安全運転レッスン活動をサポートしています。当社は、全国各地にて自治体・警察・地域の企業等と有機的に連携し、社員による各種安全運転支援メニューの提供を通じて社会課題の解決(安全・安心なまちづくり、高齢者の豊かな生活を実現)に取り組んでいます。



<https://gooddriver.jp>

## 障がい者スポーツの支援

### スペシャルオリンピックス日本への支援

当社は、スポーツトレーニングの機会や競技会等を提供するスペシャルオリンピックス日本のスポンサーとして、知的障がいのあるアスリートを支援しています。また、各地で開催されるイベントへ社員がボランティアとして参加し、大会運営をサポートしています。

<https://www.ms-ins.com/company/csr/social/specialolympics/>

## 三井住友海上福祉財団の活動(1975年創立)

交通事故・各種災害の防止等と高齢者福祉の両分野における研究等の助成活動を行っています。毎年公募により、社会的意義が大きく実用性の高い研究を選定して、助成しており、その成果は当財団発行の「研究結果報告書集」やオフィシャルWebサイトにも掲載しています。また、研究助成は日本国内のみならず、タイや台湾でも行っているほか、「三井住友海上 福祉財団賞」を設けて、優れた著作と論文を表彰しています。

さらに、交通安全関係の活動や、高齢者福祉施設の介護用福祉車両購入等への助成も実施しています。

2023年度は52件、約4,500万円を助成。設立以来の累計助成実績では2,323件、約25億9,400万円に及んでいます。

<https://www.ms-ins.com/welfare>



2023年度 国内研究助成・財団賞贈呈式

## 三井住友海上文化財団の活動(1988年創立)

地域の文化振興支援を目的として、音楽・郷土芸能の分野で助成を行っており、2023年度に創立35周年を迎えました。主な活動は、各地の公立文化ホールでの、都道府県ならびに市町村との共同主催による「地域住民のためのコンサート」の開催と、「文化の国際交流活動に対する助成」です。



地域住民のためのコンサート

### 地域住民のためのコンサート(1995年メセナ普及賞受賞)

|      | 累計(2023年度末) |
|------|-------------|
| 公演回数 | 1,012回      |

### 文化の国際交流活動に対する助成(2000年文部大臣賞受賞)

|      | 累計(2023年度末) |
|------|-------------|
| 助成件数 | 489件        |
| 助成金額 | 3億580万円     |

<https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp>

# スポーツ振興への取り組み

当社は、スポーツ界の第一線で活躍する選手を育て、世界のスポーツの発展と繁栄の一助となるよう、スポーツ振興に積極的に取り組んでいます。またアスリートが主体となり、地域との交流や地域環境との共生を目的とした活動を推進しています。これらの取り組みが評価され、「令和5年度東京都スポーツ推進企業」「スポーツエールカンパニー2024」に認定されました。



パラアスリートの道下 美里選手とのランニングイベント



「スポーツエールカンパニー2024」



トライアスロン部「MS Kids Triathlon」  
(©アフロスポーツ)

## 女子柔道部

女子柔道部には11名の選手が在籍し、国内外の大会で活躍しています。

### 【主な大会結果】

| 年月       | 大会名              | 順位、選手名(階級)                                                            |
|----------|------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 2023年 5月 | 世界柔道選手権大会        | 2位：舟久保 遥香(57kg級)<br>優勝 [男女混合団体戦]：日本代表チーム<br>[玉置 桃、舟久保 遥香、桑形 萌花]       |
| 2023年 6月 | グランドスラム・ウランバートル  | 3位：高山 莉加(78kg級)                                                       |
| 2023年 8月 | ワールドマスターズ・ブダペスト  | 3位：舟久保 遥香(57kg級)                                                      |
| 2023年 9月 | アジア競技大会          | 2位：玉置 桃(57kg級)<br>2位：高山 莉加(78kg級)<br>優勝 [男女混合団体戦]：日本代表チーム[玉置 桃、桑形 萌花] |
| 2023年12月 | グランドスラム・東京       | 3位：高山 莉加(78kg級)                                                       |
| 2024年 3月 | グランドスラム・タシケント    | 優勝：高山 莉加(78kg級)<br>2位：舟久保 遥香(57kg級)<br>5位：藤城 心(52kg級)                 |
| 2024年 4月 | 全日本選抜柔道体重大別選手権大会 | 優勝：玉置 桃(57kg級)                                                        |



(左)桑形 萌花選手  
(中)玉置 桃選手  
(右)舟久保 遥香選手  
(©アフロスポーツ)



高山 莉加選手  
(©アフロスポーツ)

## 陸上競技部

陸上競技部には11名の選手が在籍し、トラック種目を中心に活躍しています。

### 【主な大会結果】

| 年月       | 大会名                | 順位、選手名(種目)                                                                     |
|----------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 2023年 4月 | 兵庫リレーカーニバル         | 優勝：西山 未奈美(2000mSC)                                                             |
| 2023年 4月 | 織田幹雄記念国際陸上競技大会     | 2位：西山 未奈美(3000mSC)<br>2位：樺沢 和佳奈(5000m)                                         |
| 2023年 6月 | 日本陸上競技選手権大会        | 4位：西山 未奈美(3000mSC)                                                             |
| 2023年 9月 | 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会  | 優勝：西山 未奈美(3000mSC)<br>4位：樺沢 和佳奈(1500m)<br>6位：西山 未奈美(1500m)<br>7位：樺沢 和佳奈(5000m) |
| 2023年11月 | 全日本実業団対抗女子駅伝競走大会   | 9位                                                                             |
| 2023年12月 | 日本陸上競技選手権大会・10000m | 5位：樺沢 和佳奈                                                                      |
| 2024年 2月 | 全日本実業団ハーフマラソン大会    | 優勝：樺沢 和佳奈<br>6位：清水 萌                                                           |



樺沢 和佳奈選手  
(©アフロスポーツ)



西山 未奈美選手  
(©アフロスポーツ)

トライアスロン部

トライアスロン部は2014年度に発足し、2名の選手が在籍しています。

【主な大会結果】

| 年月       | 大会名                         | 順位、選手名                 |
|----------|-----------------------------|------------------------|
| 2023年 5月 | ワールドトライアスロン・横浜              | 24位：小田倉 真<br>28位：古谷 純平 |
| 2023年 5月 | アジアカップ・台州                   | 優勝：古谷 純平               |
| 2023年 5月 | アジアカップ・大阪城                  | 優勝：古谷 純平               |
| 2023年 8月 | ワールドカップ・威海                  | 2位：小田倉 真               |
| 2023年 9月 | ワールドトライアスロン<br>世界選手権・ポンテベドラ | 32位：小田倉 真              |
| 2023年 9月 | アジア競技大会                     | 2位：小田倉 真               |
| 2023年10月 | ワールドカップ・成都                  | 5位：小田倉 真               |
| 2023年10月 | 日本トライアスロン選手権                | 6位：古谷 純平               |



小田倉 真選手  
(©アフロススポーツ)



古谷 純平選手  
(©アフロススポーツ)

パラアスリート

5名のパラアスリートが、それぞれの種目で世界のトップをめざして活動しています。

【主な大会結果】

| 年月       | 大会名                           | 順位、選手名(種目、クラス)                                |
|----------|-------------------------------|-----------------------------------------------|
| 2023年 4月 | かすみがうらマラソン兼<br>国際ブラインドマラソン    | 優勝：米岡 聡(フルマラソン男子B-1)<br>優勝：道下 美里(フルマラソン女子B-2) |
| 2023年 4月 | 日本パラ陸上競技選手権大会                 | 優勝：神下 豊夢(男子砲丸投 F46)<br>優勝：神下 豊夢(男子円盤投 F46)    |
| 2023年 5月 | ワールドトライアスロン<br>パラ・横浜          | 3位：米岡 聡(PTVI男子)                               |
| 2023年 5月 | 全日本視覚障害者柔道大会                  | 5位：田中 司(90kg級)                                |
| 2023年 6月 | ジャパンパラ陸上競技大会                  | 優勝：神下 豊夢(男子砲丸投 F46)<br>優勝：神下 豊夢(男子円盤投 F46)    |
| 2023年 8月 | 北海道マラソン                       | 優勝：道下 美里(視覚障がい者の部女子)                          |
| 2023年 9月 | ワールドトライアスロン<br>パラ世界選手権・ポンテベドラ | 13位：米岡 聡(PTVI男子)                              |



道下 美里選手



2023年から柔道に競技転向した  
田中 司選手  
(©アフロススポーツ)

サッカー・ラグビー

各競技で活躍する2名の選手が在籍しています。



サッカー・菅澤 優衣香選手



ラグビー・小出 深冬選手  
(写真提供:アルカス熊谷)

その他のスポーツ

社員の心身健康の増進、および年齢や役職、所属部署を越えた社員間コミュニケーションの活性化を図るため、部活動を積極的に推進・支援しています。

【主な大会結果】

| 年月                   | 大会名                           | クラブ名        | 結果 |
|----------------------|-------------------------------|-------------|----|
| 2023年 9月             | 全日本実業団剣道大会                    | 剣道部         | 出場 |
| 2023年10月             | 全日本シーホース級ヨット選手権大会             | ヨット部        | 優勝 |
| 2023年11月             | 企業対抗レディスゴルフトーナメント             | ゴルフ部        | 優勝 |
| 2023年12月<br>2024年 2月 | テニス日本リーグ                      | テニス部        | 出場 |
| 2024年 3月             | 全日本社会人バスケットボール プレミアムチャンピオンシップ | 女子バスケットボール部 | 出場 |

# 損害保険業界としての取組み



当社は一般社団法人 日本損害保険協会（以下、「損保協会」）の一員として、事故、災害および犯罪の防止・軽減に向けて、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおり、2015年9月に国連サミットにて採択されたSDGsの達成にも貢献しています。また、消費者のリスク認識の一層の高揚を図り、損害保険の仕組みや役割を理解した上で、適切かつ有効に活用いただけるよう、「損害保険リテラシー」の向上に取り組んでいます。

## 防災・自然災害対策

### 地震保険の普及・啓発

地震保険は、法律に基づき国と損害保険会社が共同で運営する保険であり、地震・噴火・津波による建物・家財の損害を補償します。被災された方の生活安定に寄与する役割を担っており、2022年度に火災保険を契約された方の約7割が加入しています。損害保険業界では、テレビ・新聞などの広告を用いた啓発、代理店の支援等を通じて、地震保険の理解および加入促進を図っています。



### 地域の安全意識の啓発

- ・幼児向け防災教育カードゲーム「ぼうさいダック」の作成・普及
- ・小学生向け安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」の普及
- ・中学生・高校生向けの防災教育教材の提供

### 地域の防災力・消防力強化への取組み

- ・全国の自治体や離島への軽消防自動車の寄贈
- ・全国統一防火標語を掲載した防火ポスターの制作
- ・「ハザードマップと一緒に読む本」やeラーニングコンテンツ「動画で学ぼう！ハザードマップ」のほか、チラシ「水災害への備え、本当に大丈夫ですか？」等を損保協会ホームページに公開
- ・「そんぽ防災Web」での情報・ツール提供

## 交通安全対策

### 交通事故防止・被害者への支援

自賠責保険の運用益を、自動車事故防止対策や自動車事故被害者支援等に活用しています。

### 交通安全啓発活動

- ・交差点事故低減に向けて「全国交通事故多発交差点マップ」を損保協会ホームページに公開
- ・自転車の交通ルール・マナー等を解説した冊子の作成や講演会等の開催
- ・高齢者の事故防止を呼びかける反射材つき啓発チラシの提供
- ・「飲酒運転防止マニュアル」の作成
- ・後部座席シートベルト着用推進チラシの作成



## 犯罪防止対策

### 自動車盗難の防止

「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」の民間側事務局として、自動車の盗難防止対策に取り組んでいます。

## 住宅修理業者に関するトラブルへの注意喚起

消費者庁・金融庁・警察庁・独立行政法人 国民生活センターおよび一般社団法人 日本損害保険代理業協会の協力を得て、不正な住宅修理（リフォーム）業者とのトラブルを注意喚起するチラシ等を作成しています。また、お困りの方からご相談を受け付ける「保険金に関する災害便乗商法相談ダイヤル」も設置し、被害防止に取り組んでいます。

## ロードサービス業者に関するトラブルへの注意喚起

インターネット広告に表示されたロードサービス業者との高額な費用請求トラブルに巻き込まれないよう、消費者へ注意を呼びかけています。

## 啓発活動

地域で子どもが犯罪や不慮の事故に巻き込まれないよう、大人と子どもが一緒に学べる事前学習型の教材（手引き）を作成し、子どもたちの安全教育の推進に取り組んでいます。

## 環境問題への取組み

### 気候変動対応の推進

サステナブルな社会への円滑な移行に貢献すべく「気候変動対応方針」を策定し、「気候変動ガイドブック」や「気候変動特設ページ」を公開するとともに、ニュースレター配信や勉強会を実施しています。

### 環境問題に関する目標の設定

廃棄物やCO<sub>2</sub>の排出量削減等について、損害保険業界としての目標を設定し、その実現に向けて取り組んでいます。

### 自動車リサイクル部品活用の推進

廃棄物やCO<sub>2</sub>の排出量抑制を目的として、自動車修理におけるリサイクル部品の活用推進に取り組んでいます。

### エコ安全ドライブの推進

「エコ安全ドライブ」を推進するため、普及啓発に取り組んでいます。



## 保険金不正請求防止に向けた取組み

### 保険金不正請求ホットラインの運営

「保険金不正請求ホットライン」を開設して、保険金不正請求に関する情報を収集し、損害保険各社の対策に役立てています。

### 保険金詐欺防止ポスターの作成・掲出

保険金詐欺のけん制と重罪を周知する保険金詐欺防止ポスターを作成・掲出しています。

### 啓発動画の作成・公開

保険金不正請求防止に関する理解の促進と、保険金不正請求ホットラインの周知を目的として、損保協会ホームページやYouTubeに啓発動画を公開しています。

